

～避難所におけるペット同行避難の受入体制を考える～

日進市開業獣医師会（2026 年度版）

1. 「ペットの受入」は、なぜ必要なのか？

災害時、ペットを連れた住民は必ず避難所へ来ます

ペット受け入れを示さないと、「逃げ遅れ、戻り行動、救助の妨げ、健康被害」の恐れがある

⇒ 動物愛護 ではなく 防災対策 として受け入れる必要がある

2. 日進市の現状 ： あなたの避難所にもペットは必ず来ます

市内の飼育数 ： 犬 約 6,000 頭（登録）、猫 約 5,000 頭（推計）、計 1 万頭以上のペットがいる

地域防災指針 ： 原則、市内すべての小中学校避難所はペット同行避難の受入れ体制を整える

3. ペット対策は、避難所運営を助ける

動物に関する多くのトラブルは事前の準備で避けられる

⇒ ルールを決めておく ： 受け入れる⇒ 人と動物の分離 ⇒ 世話は飼主責任／飼主会の共助

⇒ 場所を決めておく ： 人と生活空間を分けた安全な場所（駐輪場、体育館軒下、半屋内スペース）

4. 初動は「ペット受付キット」を活用

受付は支援につながる大切な情報です

日進市では、各避難所に**「ペット受付スターターキット」**を配備済み

内容： 案内ポスター、ペット受付台帳、文房具一式

⇒ メリット： 専門知識がなくても、キットを開けば誰でもペット受付を開始できる

5. 【2026 年版アップデート】 能登半島地震からの教訓（ペット対策について）

☆ 避難所の役割は「情報・支援」の拠点

・在宅避難・親族知人宅避難・車中避難など、安全確保できる場合は分散避難も有効な選択肢

⇒ 避難所は地域の拠点として物資や情報を提供する役割

☆ 完璧を目指さない

まず受け入れて、人と動物それぞれの居場所を確保し、情報を整理する

⇒ 運営本部・飼主会・関係機関、他避難所などと連携して対処していく

6. 例外対応 ： 身体障害者補助犬

補助犬（盲導犬・聴導犬・介助犬）： ペットではなく、身体の一部として扱う

原則として人の居住スペースへの同伴を認める必要がある

7. 現場で困ったときの相談先

日進市役所（災害対策本部）、 愛知県動物愛護センター、 日進市開業獣医師会

◎ まとめ ： ペット対策は、人を守り、避難所を守り、地域を守る防災対策です

キーワード ： 同行避難、分離避難、分散避難、ペット受付、飼主会